



平和新聞 東京版

2021年6月25日 東京版第109号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

第69回 東京平和委員会定期総会開催

5月30日、東京労働会館・ラパスホールにて「第69回東京平和委員会定期総会」を開催しました。

オンライン参加11名、会場参加14名の25名が参加し、運動方針、予算決算、2021年体制をそれぞれ確認しました。

《運動の経過・運動方針》

抜粋

1 はじめに

1年を超えるコロナ危機で、多くの人が苦しんでいる中、日本政府は日米同盟強化の路線を進め、軍事費を増強してきました。私たちは、「軍事費を削って、コロナ対策へ」と訴え、様々な困難の中で運動を展開してきました。

日米政府は、6年以内に台湾有事を想定した、日米安保体制強化に大きく舵を切ろうとしています。これを回避するには、自公政権からの転換が必要です。その中で、平和NGO団体・平和委員会が全国・全都に広がるのが重要です。



東京平和委員会は、8月10日に創立70周年を迎えます。前身組織の「東京平和会議」は1951年に創立し、議長を宮崎竜介(弁護士・社会運動家)が務め、柳原白蓮(歌人)などが会員に名を連ねていました。70年の歴史を引き継ぎ、未来につなげるためにも全都の平和委員会の体制を強化し、仲間をさらに広げて

行きましょう。

2 この一年の経過

昨年は、現行の日米安保条約と日米地位協定が発効した1960年から60年の節目の年として、日米安保条約と日米地位協定の現状を問う機会として運動を進めてきました。

コロナ感染が拡大する中で、行動が制限されましたが、コロナ禍の中でもできることを行ってきました。

2020年日本平和大会はオンライン開催となりましたが、平和大会パンフレット1600部を普及し、オンライン学習会など旺盛に行い、「横田基地にオスプレイはいらない11・22東京大集会」にも取り組みました。

1月22日の核兵器禁止条約発効は、たまたかの歴史的な到達点であり、核兵器廃絶に向けた新たな出発となりました。

4月にワシントンで日米首脳会談が行われ、「インド太平洋戦略」の「柱」としての役割を担い、日米同盟の強化をさらに大きくする共同声明を発表しました。

横田基地のさらなる強化につながり、特殊作戦部隊CV-22オスプレイの配備を早めることにもなります。

コロナ禍の中でこそ憲法にもとづく日本外交への転換も横田基地をはじめ、辺野古新基地中止・普天間基地の返還に向け、全国の運動と連帯し大きなたたかいの年にしていきましょう。

3 東京の重点課題

(1) 横田基地の強化、CV-22オスプレイの配備撤回、10機体制反対のたたかい

2020年度の福生市、瑞穂町の騒音測定データが記録上最高の3万3924回になりました。

米軍は2024年までにオスプレイを10機体制にする計画で、横田基地では格納庫や司令部が建設されています。オスプレイの配備を撤回、10機体制反対の運動を進めていきます。

沖縄・木更津・佐賀のオスプレイ反対の運動と結んだ「日本のどこにもオスプレイはいらない」全国署名が準備されています。秋の国会に向け取り組みます。

(2) 都心を低空飛行する米軍ヘリ問題

都心を低空飛行する米軍ヘリの映像を「毎日新聞動画」がスクープしました。最低安全飛行高度が守られていません。日本の航空法

を適用させるために、日米地位協定の抜本改定を求めていきます。

(3) 「わが街を戦争の拠点にするな」平和連帯の運動

基地強化や軍事演習、自治体などを戦争態勢に組み込む動きなどに反対する各地の市民運動と連帯し、自治体への平和行政を求める活動をすすめていきましょう。

辺野古新基地、鹿児島・馬毛島の軍事基地化、木更津・陸自オスプレイ暫定配備、などの市民運動と連帯してたたかきましょう。

(4) 2021平和行進・世界大会、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める運動をひろげよう

(5) その他の運動課題
「原発ゼロ法案」、「東京都平和祈念館(仮称)」建設、戦災被害者への戦後補償、「日本軍慰安婦」被害者への賠償などの課題に取り組みます。

(6) 2021年東京都議選挙と総選挙で平和推進勢力を増やそう

4 2021年東京平和委員会創立70周年に向けて平和委員会を大きく広げよう
2021年8月10日に東

京平和委員会が創立70周年を迎えます。

一昨年の全国大会以降、会員77名減、新聞68部減、平運15誌減と大きく減り、解散・休会した地域平和委員会もあります。事務局体制が取れていないところも少なくありません。これは首都の平和委員会として重大な問題です。こうした平和委員会の立て直しと、地域・職場に根ざした基礎平和委員会づくりを、創立記念日为目标に一昨年の大会現勢に戻していきたいと思います。

(1) コロナ危機の下で一人ぼっちの会員をつくらない活動が重要です
会員・読者一人一人との絆を大事にし、励ましあい温かくつながる活動が重要です。気軽にできる行動(地元議員へのファックス・メール要請など)を工夫し取り組めます。

(2) 「東京ピースチャレンジャー」に取り組みます
◇平和新聞読者を増やすキャンペーンを行います。
◇会員3人集まれば平和委員会が作れます。地域・職場・学園に作りましょう。

5 2021年4月1日から、平和新聞が70円、平和運動誌が50円値上げしました

た

・平和新聞(送料込み) 520円が570円に、

・平和運動誌(送料込み) 310円が360円に、

・会員(新聞有) 1000円が1070円になります。

6 平和新聞東京版の充実

東京版は昨年の6月から毎月発行し、1年が経ちました。地域の情報や会員の声が反映できるように取り組んでいきます。

＜2021年役員体制＞

◇代表理事 井出由美子・長谷川邦夫・荻野孝一・石村和弘

◇事務局長 岸本正人

◇次長 佐藤恵美・伊藤笑子

◇常任理事 17名 理事 26名

米軍CV22オスプレイ 山形空港に緊急着陸

6月14日17時11分頃、米空軍横田基地所属のオスプレイ1機(0075)が飛行中に何らかのトラブルが発生し、山形空港に緊急着陸しました。

当該機と共に飛行していたもう1機のオスプレイ(0076)も山形空港にいったん着陸しましたが、0075号機



から荷物などを移動し、19時45分ごろ再び飛び立ち、横田基地に帰ってきました。

横田基地を監視している羽村平和委員会は、離陸前のオスプレイ2機を撮影していました。機体後部に機関銃を装着し、離陸して北の方に飛んでいきました。

装備の関係から三沢の射爆場での射撃訓練に向かう途中でトラブルが発生したようです。

東京平和委員会は15日に、日本平和委員会、山形平和委員会と連名で防衛大臣・外務大臣に抗議文を送りました。

また、16日には日本共産党の宮本徹参議院議員と尾崎あや子都議と共に防衛省に対し、飛行停止など要請

しましたが、防衛省は「米軍に飛行停止を求めることはしない」と答えました。

防衛省は、東京都と市町連絡協議会による政府・米軍への次のような要請にも背を向けています。

①経過と原因究明。②安全確認ができるまでの飛行中止。③人員降下訓練とも関係。④情報の提供

東京平和委員会では、引き続きオスプレイの飛行停止、撤去、10機体制反対を政府と米軍に要求し続けていきます。

米軍機禁飛

審議すればするほど矛盾や問題点が噴出し、「法の体をなしていない」とまでいわれた問題法案の審議を封じて成立を強行したこと

に強い怒りをもって断固抗議します。

東京平和委員会では廃案アピール、衆・参各委員への抗議ファックスに取り組みました。

「土地利用規制法案」の採決が狙われていた15日、日本平和委員会・沖繩の会と共に有楽町マリオン前で「沖繩連帯15日行動」を行い、その中でこの法案の危険性を訴えました。



この暴挙の根源は、改憲と軍拡をすすめる菅自公政権の姿勢にあり、政権を倒す以外に問題の解決はありません。都議選をはじめとする各地の政治戦、そして総選挙での野党共闘の勝利で、憲法蹂躪勢力に厳しい審判を下しましょう。

米軍ヘリの低空飛行は危険!

朝のNHKニュース「おはよう日本」で、米軍ヘリの低空飛行問題が放送されました。

記者の増田剛さんはNHK国際放送局で、5月20日に「NHKワールド」(英語)で放映された麻布ヘリ基地問題をレポートした方です。

横田基地所属の米軍ヘリがビルを縫うように低空飛行する画像を映し、「危険な飛行だ。米軍であろうと辞めさせないといけない」

「日米地位協定の改定が必要」ときっぱりと言いつつ切りました。

東京平和委員会では、こうした報道の事実を政府に突きつけ、低空飛行の禁止を求めていきます。

編集後記

◇「済みましたか?」「打ちましたか?」が、挨拶言葉のようになってきたこの頃。とはいえ《同調圧力》は避けたいもの。

◇今回の総会議案に「戦跡めぐりなどのフィールワーク」の提起があります。

手引きとなる本の一冊に『新版 東京の戦争と平和を歩く』(東京歴史教育者協議会編、平和文化、2008年)があります。

都内自治体のWebサイトには、「平和マップ」があるいは「戦跡マップ」があり、ダウンロードできます。

北・新宿・文京・台東・板橋・千代田・港の各区や武蔵野市など。これらの資料を参考に、歩いてみませんか。